

## 足羽地区の誇り

## 歴史と自然に抱かれた“煌めくあすわ”



萩の寺として知られる瑞源寺は福井藩5代藩主の菩提寺である。本堂と書院は福井城本丸御殿から移築されたもので、福井城に関わる唯一の遺構であり県指定文化財。毎年9月中旬には萩まつりが開かれるなど、歴史と自然と文化の薫る安らぎの空間として親しまれている。



足羽山へ続く愛宕坂沿いには、明治の歌人橘曙覧の居住跡に「橘曙覧記念文学館」や「愛宕坂茶道美術館」、山頂には越前最古の歴史を有する足羽神社や継体天皇像があり、足羽山への歴史の道となっている。春と秋には灯りの回廊として石段が行灯でライトアップされる。



足羽地区は、幕末から明治維新にかけて日本の変革に大きく寄与した橋本左内、由利公正など偉人ゆかりの地である。左内公園内には橋本左内先生の銅像が建立されており、春には「幕末の偉人に学ぶ」をテーマに「あすわ左内まつり」を開催、また、先生の命日である10月7日には、公園内の菩提所において墓前祭を行うなど左内先生の遺徳を顕彰する活動を続けている。なお、この左内公園を橋南地区観光の起点として盛り立てていこうと、地域住民の有志により日々清掃・整備活動が行われている。



足羽公民館 館長  
善里 嶺信さん

平成17年から現職。「自然豊かなこの地区には寺社仏閣が多く点在し、歴史的にも福井発祥の地とされる由縁です。この遺産を大切に、地域文化を創造するための学びと交流を深める活動を推進していきます」と話す。

## 足羽公民館

住 所／福井市足羽2-12-31

電 話／0776-35-0041

交通機関／すまいるバス「足羽ふれあいセンター」バス停車